

## 3号機 補助建屋における自動火災報知設備の作動(非火災報)について(続報)

平成 18 年 9 月 4 日

### ◆本日お知らせする内容

その後の状況	<p>自動火災報知設備の調査を実施したところ、消火栓発信器の内部配線が扉に挟まり損傷したことから、漏電が発生し、火災報知器からの信号を監視盤に伝送する基板に異常が発生したことがわかりました。</p> <p>配線が挟まった原因は、消火栓のベル取替工事後に扉を閉めた際、扉側に設置されている配線が、扉の閉止に伴い移動し、盤本体側のプレートとの間に挟まったものと推定しました。</p> <p>9月1日配線の修理を行い、自動火災報知設備を通常の状態に復旧しました。</p> <p>なお、原因調査過程において当該基板の取り替えを行っています。</p>
対策	<p>消火栓のベル取替工事に従事している作業員に、今回の事象を周知徹底するとともに、工事が完了した消火栓を含め、工事施工時に配線が今回の挟まれ位置まで動かないよう扉内部で配線を固定することとします。</p>

### ◆これまでにお知らせした内容

(平成18年8月31日お知らせ済み)

発生号機	3号機 (定期検査中) :沸騰水型、定格電気出力110万キロワット
発生年月日	平成18年8月31日
発生時の状況	<p>午前11時03分、補助建屋地下2階(放射線管理区域内)および2階(放射線管理区域外)において、自動火災報知設備が作動しました。</p> <p>その後、午前11時36分、補助建屋3階(放射線管理区域外)において、自動火災報知設備が作動しました。</p> <p>直ちに現場の確認を行い、それぞれ火災ではないことを確認しました。</p>

原因	火災感知器からの信号を監視盤(※)に伝送する基板に、故障が発生していると推定されます。
対策	当該基板の取り替えを実施します。 また取り替えが終了するまでは、当該基板が監視するエリアの巡視を実施します。
<a href="#">お知らせ基準</a>	「表2-16」に該当します。

※ 監視盤は中央制御室に設置され、火災感知器が作動した場所を表示します。

以上